



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>
e-mail : koe@siminnokai.com

〘区域区分見直し、反対署名本格化 第2回 交流会開催



※上写真は活発な意見が出た第2回交流会の様子

北九州市民の会主催の「第2回区域区分見直し交流会」が昨年12月26日午後、市立生涯学習総合センターで開催されました。約50人が参加し、市が進める財産権侵害の〘区域区分見直し、計画の現状確認や今後の対応策などについて意見交換しました。すでに反対署名をまつめている対象地域もあり、市民の会事務局は「既に署名をまつめている地域は、市議会に陳情、請願をしてほしい。それぞれの地域の要求も含めて反対署名をまつめてほしい」と提案しました。

「区域区分見直し」は、市が災害対策などを理由に斜面地などの市街化区域を、開発制限のある市街化調整区域に線引きするもの。市全域で約3万5千人、約1万8000世帯が対象となっています。

現在、市は対象地域で説明会を進めていますが、土地評価がさがると財産権侵害に対する反対意見が多くでており、市は昨年の市議会12月定例会で、区域区分線引き修正案に対する意見書提出期限を3月末までに「柔軟に対応する」と本会議答弁しました。

参加者からは「開発許可を出しておきながら、災害が起こるかもしれないから出て行けというのはおかしい。市は災害対策を理由に区域区分見直しを進め、財産権については補償もしないという。区域区分見直しと災害対策は別の問題」と怒りの声が相次ぎました。

平和ネットが総会と記念講演

平和をあきらめない北九州ネットは、12月19日(日)14時から小倉北区ムーブ大セミナー室で2021年度第7回定期総会を開きました。78人が参加。2021年総括と2022年活動方針、役員体制、財政報告を一括して提案し、すべて承認されました。記念講演は、高田健さん(総がかり行動実行委員会、市民連合運営委員会)が、「総選挙の結果と市民運動・野党共闘」と題して90分間講演しました。総選挙の結果について、「市民と立憲野党の共同」側の「敗北」と教訓について、厳しい評価もされた。総選挙後の名文改憲と実質改憲の急速な進行について詳しく分析、参議院選挙にむけて市民と野党の結束、共闘を広める必要性を強調された。



春闘共闘加盟組合代表者会議開かれる

北九州春闘共闘連絡会は、11月30日に事務局会議を開催し、運営要綱や事務局体制、2022年春闘方針(骨子案)などを確認しました。事務局会議の決定を受け、2022年春闘共闘加盟組合代表者会議を、12月17日18時30分から小倉北区生涯学習総合センター1階会議室で、8団体13人の参加で開催しました。事務局会議以降、加盟組合の機関会議などで検討されてきた2022年春闘方針骨子案については、加盟組合から寄せられた補強意見などを取り入れ、第1次案として提案し実践しながら2月10日の総会&学習会で確認する予定です。



確認された、当面の行動は、①12月26日「変えるチラシ」配布統一行動、②1月6日市内2箇所新春宣伝行動を取り組む、③2月12日に春闘共闘の学習会を開催し方針を決定、④2月25日、春闘要求前進をめざす1日総行動、⑤憲法改悪反対の宣伝行動への参加、⑥3・13重税反対統一行動、⑦第93回北九州統一メーデーの準備、⑧5・3憲法集会などの行動を成功させる。⑨3月9日は回答指定日、⑩3月10日に春闘要求の前進をめざす全国統一行動を北九州でも小倉駅前南口周辺でおこない成功をめざします。(堀田和夫氏FBより)

2022年の幕開け

新しい政治実現へ希望の年に

2022年の幕が開けました。新型コロナ下の2度目の新年も、オミクロン株感染拡大への警戒が求められ緊張が続きます。コロナに直撃され困窮する人の増加も深刻で、各地で相談・支援活動が取り込まれる越年になりました。

2年におよぶコロナ禍は日本と世界が抱える多くの矛盾を浮き彫りにしました。コロナの無為無策で批判を招いた菅義偉政権に代わり岸田文雄政権が発足したものの、事態打開の道筋は示せず、山積する内外の諸課題に対処する能力を欠いています。コロナを乗り越え、未来を開く新しい政治を実現する年にしていきたいと思います。

■ 本流と逆流のたたかい

「全ての国で軍事費を2%削減する。地球規模の緊急事態とたたかうために、5年間で1兆ドルを節約する」。世界のノーベル賞受賞者ら50人以上が昨年12月に連名で発表した公開書簡が注目を集めました。膨大な資源を浪費している軍拡の悪循環を警告し、軍縮で得た資金をパンデミックや気候変動、極度の貧困といった人類共通の問題解決のために配分するという提案です。各国の政治が真剣に受け止めるべき積極的な内容です。

この呼びかけに真逆なのが岸田政権です。昨年末に決定した22年度政府予算案で軍事費は8年連続過去最大を更新し、21年度補正予算と合わせ6兆円超も大軍拡に投じようとしています。一方、社会保障は厳しく圧縮し、医療機関の収入に関わる診療報酬は引き下げる冷たさです。コロナ対策で失政を引き起こした教訓に学ばない政治は切り替えが必要です。

岸田政権が世界の潮流にことごとく背を向けていることも重大です。昨年11月の英国での国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)で岸田首相は、二酸化炭素排出量が多い石炭火力発電延命の立場を表明し批判を浴びました。今年3月の核兵器禁止条約の第1回締約国会議への参加も否定的です。日本と同じく米国と軍事同盟を結ぶドイツなどはオブザーバー参加を決めています。唯一の戦争被爆国としての日本の責任が厳しく問われる事態です。

「新しい資本主義」を打ち出しても大企業・富裕層を優遇する政策は改めず、金融所得課税の強化も見送りました。米国政権も富裕層に公平な負担を求める方向を打ち出しています。あまりに対照的です。立ち遅れが著しいジェンダー平等についても岸田政権は真剣に打開する意思を示しません。

昨年の総選挙で日本共産党が掲げた▽新自由主義から転換する新経済提言▽気候危機打開の2030戦略▽ジェンダー平等社会▽9条を生かした平和外交―はいずれも世界の大きな流れと合致する方向です。若者をはじめ新たな共感を集めた政策を実現し政治を動かすために一層努力を重ねます。

■ 創立100年を選挙勝利で

岸田政権による改憲を阻むたたかいは憲法施行75年の今年、大きな焦点です。草の根の運動で岸田政権を包囲し、政権交代を国民多数の声にすることが不可欠です。

7月の参院選は、市民と野党の共闘を発展させ、政権交代の足がかりをつくるたたかいです。日本共産党は7月15日に創立から100年を迎えます。記念すべき年に、新しい歴史の一步を刻むことができるよう、ともに力を合わせていただくことを呼びかけます。(赤旗元旦号:主張)

平和ネットが定例会議 今後の活動スタイルなど議論

2022年1月6日(木)夜、平和ネットが定例会議を北九州生涯学習総合センターで開催、13名が参加しました。久しぶりにZoomでなく対面での会議。12月19日の総会の総括と今後の活動日程を検討しました。



久しぶりに対面会議

平和ネットの組織改革、名称の検討、活動スタイルの工夫などの意見が出され、メールで意見交換をして改善策を探ることになった。さらに以下のように当面する活動日程が決められました。

19日定例行動について、1月は19日(水)18:00~19:00 小倉駅デッキ定例街宣。2月は19日(土)14:00~15:00 小倉駅デッキ。3月は福岡市民集会に合わせて3月13日(日)14:00~15:00 小倉駅デッキ(できれば黒崎駅も考える)とし、19日を前倒し(中止)にする。

次回定例会議は、2月3日(木)18:00 生涯学習総合センター(予定)。

新春に憲法改悪反対行動 マイクリレーで訴え

今年最初の、憲法改悪反対北九州共同センターの毎月行動が、1月8日(土)11時から小倉駅南口ペDESTリアンデッキ周辺で取り組まれた。



JR小倉駅前署名活動

参加は16人、集約された署名は23筆でした。リレートークは、高瀬県会議員、野瀬事務局員、永富地区労連議長、前田憲徳代表、永野市職労OBが交替でマイクを握り心を込めて憲法改悪反対を訴えた。

(堀田和夫氏FBより)

八幡市民会館の活用を求める連絡会 1月26日 市議会で口頭陳述

1月14日、上記連絡会が開催されました。当面する課題は、12月議会に提出した陳情書の審査が以下の要領で実施されます。

1月26日(水)10:00 教育文化委員会
陳情書タイトル:埋蔵文化財センター移転事業・基本設計が八幡市民会館の歴史的・文化的価値の保存に値するものであるのか、再検討してください。

集会とパンフレット作成については、今後の連絡会のあり方を検討する中で、当初予定した3月を延長することでおおよその合意をえました。

次回連絡会は、2月18日(金)13:30 大谷市民センターで開催されます。



今後の連絡会のあり方を検討するメンバー

北九州市で成人式 感謝と挑戦を誓う

1月10日は「成人の日」。北九州市では9日に成人式が開かれ、若人の門出を祝った。

メディアドームでは、市成人式実行委員会と市の主催による式典が開かれた。対象の9572人のうち約2600人が集まり、事前申し込みや当日受付をした役1400人が式典に参加した(写真)。

実行委員14人は昨年7月から準備を重ね、式のテーマを「MAKE

YOUR OWN STORY ~感謝を力に新たな挑戦~と決めた。

委員の一人で北九州高専の小野雄介さん(20)は今春からエンジニアとして社会人になる。「これからも興味があることをいっぱい勉強して、自分のやりたいことができる大人になりたいです」と目を輝かせていた。



(朝日新聞10付朝刊より)

北九社保協通信

報告・資料集 2021年12月号
12月28日 事務局発行

コロナ電話相談会(第11回)に17件の相談 働きざかりの年代から相談多数。新給付金への不満も



TV撮影の取材を受ける高木会長

12月18日(土)にこの間、継続実施しているコロナなんでも電話相談会の第11回を実施しました。この日は久しぶりにTV取材が入り、夕方から放映のあったニュースを見ての電話が殺到するなど開設した10~20時までに17件の相談をうけました。やはりマスコミの影響を大きくとらためて感じました。感染が一定落ち着き経済も少しずつ回復の兆しが見えてきたところですが、相談件数や内容からコロナの影響による貧困から抜け出せない方々がまだまだいることが見えます。特に働きざかりの方々の相談が増えてきています。今回の相談の一部を紹介すると「30代。男性。居住圏では仕事が無く、県外でやっと見つかり引越してきた。会社の寮にも入れたので安心だが当面の生活資金がな

い。」と言った相談や「40代。女性。化粧品会社に働いていたがコロナで失業。困窮者自立支援センターで援助をうけているが仕事が見つからない。飲食店の店で働いたらどうか?まで言われた。」と言った公機関の人権にかかわる様な対応への相談もありました。その他にも、若い方を含め働きざかりの方々の相談が殺到しました。

また、「子育て支援金も大事だが今は非課税世帯支援金の方が先ではないか?早く支給してほしい」と言った政府の対応に不満を訴える相談者もいました。新たに打ち出された子育て支援金は支給をめぐって迷走し、非課税世帯支援金は長引くコロナ禍の影響で困窮している方々に届かない制度設計に問題ありと指摘をうけています。見直しと早期の支給をすすめるべきです。



久々のTV取材。この種のニュースで電話が殺到!

「いかに貧困」宣伝行動実施。高裁での勝利と支援を。



わざわざ車を降りて署名に協力してくれる方もいました。

12月21日(火)14時30分から、生健会、年金者組合、北九社保協も加盟した2つの新生存権裁判を原告とともに闘い、支援する「いかに貧困福岡の会 北九州」の宣伝行動を実施しました。この間、度重なる緊急事態宣言などの影響で宣伝行動を自粛していたので久々の活動となりました。当日は3団体より11名の参加で現在、高裁へと移り新たな闘いとなった2つの違憲訴訟での勝利と支援の訴え、署名にも取り組みました。

お知らせ

2月6日開催予定だった「第9回北九州人権問題公開講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することになりました。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

憲法と人権をタテマエでなくホンネで語ろう! =コロナ禍下ですすむ人権侵害と息苦しさ=

憲法学者:憲法9条の会事務局
講師は渡辺 治 一橋大名誉教授

地域や職場の同調圧力をはね返すために自由の本音で学びあえる開かれた憲法学習会



・第9回北九州人権問題公開講座
・2022年2月6日(日)午後1:30
・モノレール巨港・市商工貿易会館2Fホール
演題:コロナ禍と差別を憲法と人権から考える
=改憲問題の新局面と市民の課題=
■主催:北九州人権問題公開講座実行委員会
実行委員長:三輪俊和・市立北九大名誉教授
■参加資料代 700円
◇連絡先 ☎093(980)2375 人権連北九市協まで
2021年度北九州市人権の約束ごと事業

今後の
相談会
予定

コロナ電話相談会(無料)
日時:2月19日(土)
10時~20時
☎0120-157-930(フリーダイヤル)